

5月22日（月）3年生 小笠原流礼法

3年生は、師範に「物の受け渡し」の作法について教えていただきました。

はさみ、ペン、ノートなどを相手に渡すときにどのようなことに気を付けたらよいか、教えていただきながら、実際に体験しました。

小笠原流礼法が大切にしていることは、相手を大切に思う心です。物の受け渡しでは、①相手が受け取りやすいように ②危険でないように ③相手がすぐ使えるように ④物を丁寧に扱うように の4つが基本となって、動作につながっていることを学びました。



感想発表では、「渡すときにすてきだと思いました。」「相手が気持ちよく渡してくれると、受け取る側も気持ちいいです。」と授業で感じたことを発表していました。3年生の指導を終えて、「背筋がピンと伸びて姿勢よく聞いてくれました。日頃の取組が行き届いていますね。」と先生がほめてくださいました。

3年生リコーダー講習会

内藤楽器の先生にお越しいただき、初めて習うリコーダーについて学習しました。

先生から4つのことを教えていただきました。①リコーダーの歴史 ②リコーダーの持ち方 ③息の使い方 ④タンギングです。



特に大切なことについて、③息の使い方「シャボン玉を膨らませるように優しい息を使ってね。」④タンギングで「ひそひそ話のトゥートゥー、舌で前歯の後ろをつく感覚でね。」とわかりやすく教えていただきました。初めての3年生もリコーダーでおしゃべりしたり音楽に合わせた演奏を楽しんだりすることができました。